

令和3(2021)年度共同研究評価対象一覧表(年次点検)

領域	代表者	職名(実施時)	共同研究課題	開始年月	終了年月(予定)
重点	劉 建輝	教授	近代東アジア文化史の再構築Ⅰ—19世紀の百年間を中心に	2020年4月	2023年3月
重点	牛村 圭	教授	文明としてのスポーツ／文化としてのスポーツ	2020年4月	2023年3月
国際	松田 利彦	教授	植民地帝国日本とグローバルな知の連環	2020年4月	2024年3月
国際	荒木 浩	教授	ソリッドなく無常／フラジャイルなく無常—古典の変相と未来観	2021年4月	2024年3月
基幹	マルクス・リュッターマン	教授	「かのように」という原理で形成してきた文通—「文書」概念や、その様式、記号、表象、意図性	2018年4月	2023年3月
基幹	山田 奨治	教授	縮小社会の文化創造:個・ネットワーク・資本・制度の観点から	2018年4月	2023年3月
基幹	瀧井 一博	教授	日本型教育の文明史的位相	2020年4月	2023年3月
基幹	倉本 一宏	教授	貴族とは何か、武士とは何か	2020年4月	2023年3月

令和3年度共同研究評価対象一覧表(終了時評価)

代表者	職名(実施時)	共同研究課題	開始年月	終了年月	成果出版(書名)	出版社	出版年月
楊 際開	外国人研究員	中国近代革命の思想的起源—日本からの思想的影響を中心に	2018年4月	2019年3月	「明治日本と革命中国」の思想史	ミネルヴァ書房	2021年7月
大塚 英志	教授	「運動」としての大衆文化	2017年4月	2021年3月	運動としての大衆文化：協働・ファン・文化工作	水声社	2021年9月
伊東 貴之	教授	比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想 —王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼—	2016年4月	2020年3月	東アジアの王権と秩序——思想・宗教・儀礼を中心として	汲古書院	2021年10月
細川 周平	教授	音と聴覚の文化史	2017年4月	2020年3月	音と耳から考える：歴史・身体・テクノロジー	アルテスパブリッシング	2021年10月
宇野田 尚哉 坪井 秀人	客員教授 教授	東アジア冷戦下の日本における社会運動と文化生産	2019年4月	2020年3月	対抗文化史：冷戦期日本の表現と運動	大阪大学出版会	2021年10月
磯前 順一 吉村 智博	教授 客員准教授	差別から見た日本宗教史再考—社寺と王権に見られる聖と賤の論理	2016年4月	2020年3月	差別の構造と国民国家：宗教と公共性	法蔵館	2021年11月
廖 欽彬	外国人研究員	東アジアにおける哲学の生成と展開—間文化の視点から	2019年8月	2021年3月	東アジアにおける哲学の生成と展開—間文化の視点から	法政大学出版社	2022年2月
坪井 秀人 宇野田 尚哉	教授 共同研究員	戦後日本の傷跡	2020年4月	2022年3月	戦後日本の傷跡	臨川書店	2022年2月
蘭 信三 松田 利彦	客員教授 教授	帝国のはざまを生きる—帝国日本と東アジアにおける移民・旅行と文化表象	2019年4月	2021年3月	帝国のはざまを生きる：交錯する国境、人の移動、アイデンティティ	みずき書林	2022年3月